

研究・授業説明 資料 13:00～ (多目的室)

佐伯市立鶴岡小学校 教諭 菅 秀一

平成26年度
教育課程研究指定校事業に係る生活科研究会

研究主題
「主体的に活動や体験を行い、
思いや考えを表現できる子どもの育成」
～他教科との関連を図り気づきの質を高める学習指導の在り方～

佐伯市立鶴岡小学校

研究内容

「気づきの質」を高めるための
有効な手立ての追究

↓

※指導計画・学習指導の工夫

気づきの質の高まりとは・・・

学習指導要領解説より

「無自覚なもの」⇒「自覚された気づき」へ

「一つ一つの気づき」
⇒「関連付けられた気づき」へ

「働きかける対象への気づき」だけでなく、
「自分自身の気づき」へ

気づきの質を高めるには・・・

「自分自身の気づき」

↑

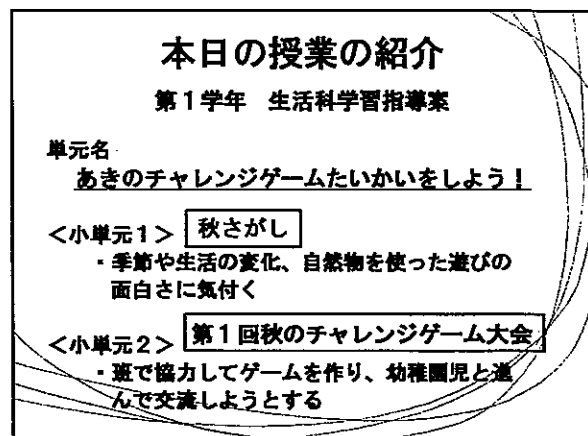
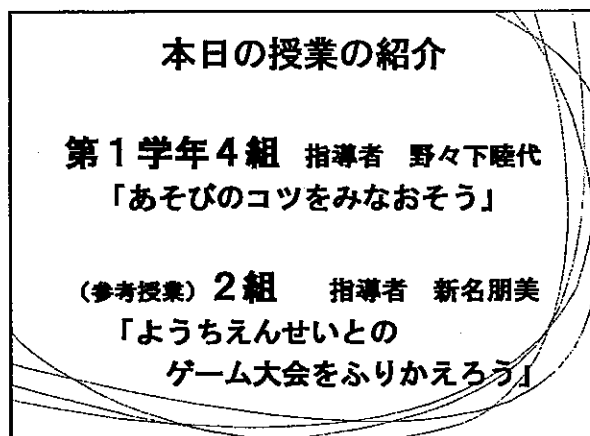
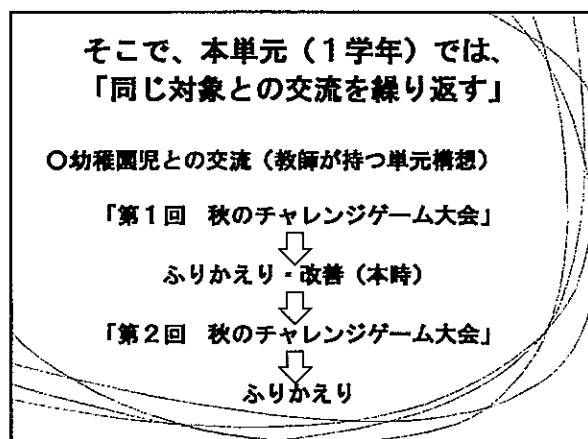
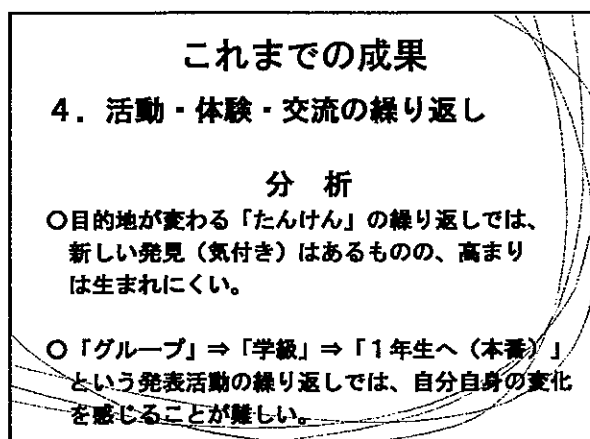
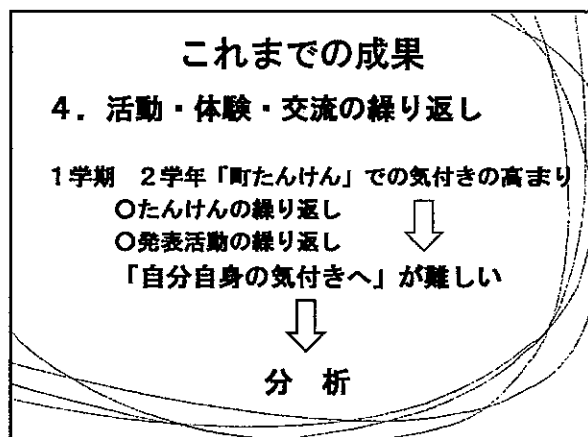
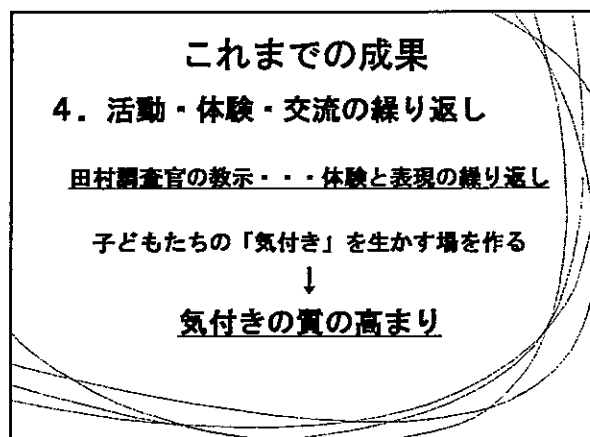
環境、きっかけ、後押し
となる仕組みの研究

これまでの取組

1. 他教科との関連
2. 人との関わり
3. 「期待する子どもの姿」の作成
4. 活動・体験・交流の繰り返し
5. 思考ツールの活用
6. 協同学習・意見交流
7. ふりかえりの場

これまでの成果

1. 他教科との関連 ※主に国語科と図工科
 - 内容を重ねることによる
十分な体験・活動時間の確保が可能
 - 他教科で身に付けた力の活用
2. 人との関わり
(異年齢交流、地域素材との関わり)
 - 相手意識を持ち、活動意欲が高まる
 - 1歳年下との交流を連年行うと効果大



本日の授業の紹介

<小単元3> 第2回秋のチャレンジゲーム大会
 ・幼稚園児がもっと楽しく遊べるように、
 ゲームのコツなどを見直す

(1) 第1回ゲーム大会を振り返り、幼稚園児の思いを想像する
 (2) 想像した思いを分類し、幼稚園児の困りに気付く (2組本時)
 (3) 第2回目に向けて、ゲームの改良やルールの見直し、コツを考える
 (4) 他の班のうまく遊ぶためのコツを考え、アドバイスを交換する
 (5) もらったアドバイスを試して新たなコツを見つける (4組本時)
 (6) 幼稚園児との第2回秋のチャレンジゲーム大会
 (7) ゲーム大会の振り返り

授業のポイント

1年4組「あそびのコツをみなおそう」

☆思考ツールの活用(目的、使い方)は適切か?
 ☆「協同学習」ができているか?
(グループで心を一つにした試行・判断とそれによる新たなコツの取捨選択)
 ☆表現活動が充実しているか?
(新たなコツについての全体交流)

めざす「気付きの質の高まり」
 自分の考えが生かされることや友だちと協力することの
 良さに気付くことができるか

授業のポイント

1年2組「幼稚園生とのゲーム大会を ふりかえろう」

☆思考ツールの活用(目的、使い方)は適切か?
(付箋紙に書いた「幼稚園児の思い」の分類作業)
 ☆「協同学習」ができているか?
(グループで心を一つにした分類による幼稚園児の困りの発見)
 ☆表現活動が充実しているか?
(幼稚園児の困りについての全体交流)

めざす「気付きの質の高まり」
 第2回目のゲーム大会に向けて、幼稚園児の反応(困り)から
 ゲームの改良等の必要性に気付くことができるか

おわりに

今後について
 (1) 「自分自身の気付き」へ
 気付きの質を高めるための手立ての追究(継続)

11月14日 博多小学校における
 九州小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会研究大会

1・2年(生活科) 交流活動を通して「自立への基礎」を養う
 3～6年(総合) 交流活動を通して「自己の生き方」を考えさせる

↓

(2) 幼・小・中のさらなる連携

(2) 幼・小・中のさらなる連携

自分自身の気付き ⇒ 「自立の基礎」「自己の生き方」

(案) 発達段階と期待する「自分自身の気付き」の段階

幼稚園：自分をたくさん見つめる

1・2年(生活科) 現在での自分自身の変化
 3・4年(総合) 以前と比べての自分の成長
 5・6年(総合) 自己の生き方を考える

中学校：自己の生き方の具体化

終

ご清聴ありがとうございました。

